

「応援します!! あなたの農業」

あぐりサポートニュース



福島県農業振興公社だより

第 3 1 号 平成 2 2 年 3 月

発行元 福島市中町 8 番 2 号
財団法人福島県農業振興公社
TEL 024-521-9834 FAX 024-521-8277

東白川の鈴木秀典さん知事賞を受賞！

・・・ 平成 2 1 年度福島県農村青年会議が開催されました ・・・

福島県農業青年クラブ連絡協議会と当公社の共催による平成 2 1 年度福島県農村青年会議が、平成 2 2 年 2 月 4 日(木)に郡山市の県農業総合センターで、クラブ員など 7 0 名が出席して開催されました。



開会式

会議は、クラブ員が設定した課題に取り組んだ成果等を発表する「プロジェクト発表の部」と農業に対する考えを発表する「意見発表の部」の 2 部構成で実施されました。

「プロジェクト発表の部」では東白川 4 H クラ



プロジェクトの発表

ブの鈴木秀典さんが、「稲わら資源の有効活用で稲作農家の所得創出」と題して発表し、クラブ員間の耕畜連携による資源循環型農業の実践が高く評価され最優秀賞(県知事

賞)を受賞しました。

賞)を受賞しました。

また、「意見発表の部」では須賀川 4 H クラブの鈴木正志さんが、「変わった野菜を食卓に」と題して、寿司職人としての経験を活かした野菜の生産販売に取り組みたいと主張し、優秀賞(県農業振興公社理事長賞)を受賞しました。

両名は、今年の 1 1 月に福島市で開催される東北大会に本県代表として出場することになりました。



知事賞を受賞した鈴木秀典さん

その他の受賞者は次のとおりです。

「プロジェクト発表の部」

■ 優秀賞(県農業振興公社理事長賞)

いわき農業青年クラブ連絡協議会 坂本和徳

■ 優秀賞(県農業青年クラブ連絡協議会長賞)

農業総合センター農業短期大学校 渡邊美奈

「意見発表の部」

■ 優秀賞(県農業青年クラブ連絡協議会長賞)

だてつく DATEC 佐藤 仁美

第13回福島県農地保有合理化法人連絡会議を開催いたしました。

第13回となる福島県農地保有合理化法人連絡会議を、2月10日(水)、福島市内のJA福島ビルで開催いたしました。

今回は、昨年の農業経営基盤強化促進法の改正により市町村段階の農地保有合理化法人が廃止されることとなり、当該業務を行っている市町村の農地保有合理化法人は、新しく創設された農地利用集積円滑化事業の実施主体となる「**農地利用集積円滑化団体**」へ移行しなければ、引き続き農地利用の集積業務ができなくなることから、今後の方向性を検討する重要な会議と位置づけ開催しました。

今回の会議は、県内の農地保有合理化法人、関係市町村及び農業委員会、並びに指導機関である福島県農業担い手課など約90名が参集して、実施いたしました。



はじめに、主催者である当社の羽田理事長よりあいさつがあり、続いて県農業担い手課の芳賀課長よりごあいさつをいただきました。

その後会議に移り、

① 平成21年度農地保有合理化事業の実績

今月のコラム



「川沿いを通勤する夢追いおやじ」

最近、毎日の通勤で、白鳥が阿武隈川の水面で

② 農業経営基盤強化促進に関する基本方針(案)

③ 今後の農地保有合理化事業の進め方


④ 福島県農地保有合理化法人連絡会議の今後などの議題について、資料に基づき県農業担い手課及び県公社から説明、報告等を行いました。



特に県農業担い手課からは、県の基本方針策定後3ヶ月以内に市町村で策定することになる「基本構想」の内容や承認手続きへの助言があり、また県公社からは、農地利用集積円滑化団体との連携や県公社が行う集積事業等の展開方向の検討案や当合理化法人連絡会議終了と、それに変わる新たな農地集積団体連絡会議(仮称)の設置の提案などを行いました。

最後に、県内の市町村農地保有合理化法人に農地利用集積円滑化団体への移行を確認したところ、ほとんどの合理化法人が移行を検討しており、今後は関係市町村・農業委員会との調整や関係機関の指導等が必要となることから、県公社からも出席した関係者に対し、改めてそれぞれが連携した指導・助言をお願いし会議を終了しました。

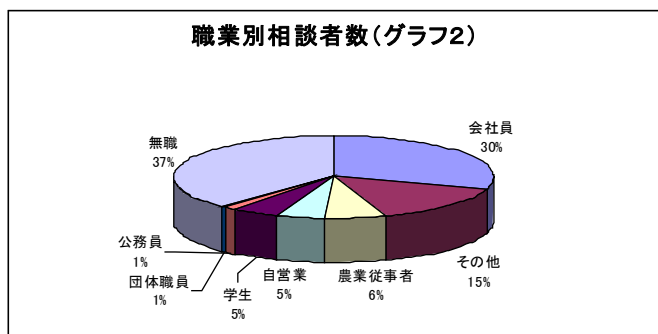
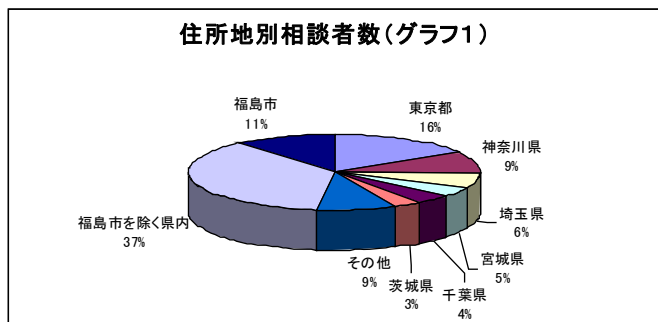
ノンビリと餌をついばむ光景にところが和むとともに、春の風物詩として観察するのが楽しみです。

福島市の白鳥は、鳥インフルエンザ対策によりあぶくま親水公園等での餌付けが禁止となりました。その影響で、私の通勤路程の川岸に 

育成センター

新規就農相談者数が177名

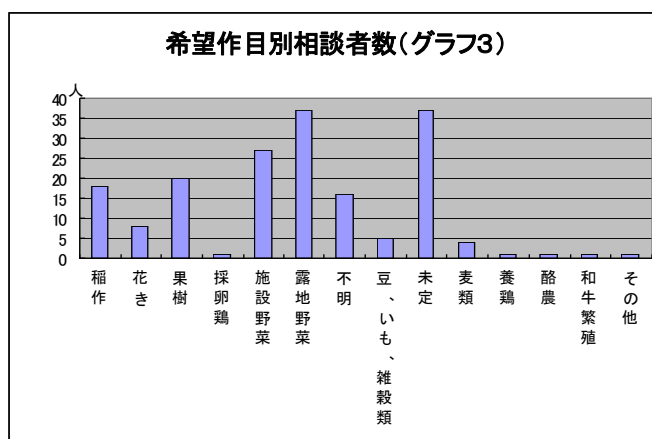
青年農業者等育成センターでは、新規就農希望者の相談業務を行っていますが、平成21年度(平成22年1月末現在)の相談者数は177名となっています。



相談者の住所地を見ると約半数の85名(48%)が県内の方で、次いで関東近県を中心とした県外の方からの相談となっています。(グラフ1参照)

職業別では、無職の方からの相談が最も多く、67名で全体の37%となっています。(グラフ2参照)

希望作目は、これから検討するとの方が多く、不明・未定が53名で、露地野菜37名、施設野菜27名、稲作17名の順となっています。(グラフ3参照)




総務課

特定鉱害事業連絡会議を開催

平成22年2月19日(金)福島市の「コラッセふくしま」において、平成21年度特定鉱害関係業務連絡会議を開催しました。この会議は、国(東北・関東経済産業局)、新エネルギー産業総合技術開発機構及び各県担当者のご出席をいただき、当公社など特定鉱害復旧事業(地表から50メートル以内の採掘跡又は坑道跡の崩壊に起因する鉱害の復旧事業)を行う岩手、宮城、山形、茨城の5法人が、特定鉱害復旧業務の円滑な遂行を目的として、2年に1回

各県持ち回りで開催しております。



 移動して来たらしく、群れてる白鳥の数が飛躍的に増えました。毎日、白鳥の数を数えるのが癖になってしまいました。「今日も元気に泳いでるね。」「昨日より増えているな。」と嬉しくなります。たくさんの白鳥がいれば「今日一日、

良いことがありそうだな」と思えるのです。そして、「私が白鳥に生まれてたら……」とめくるめく想いは広がります。

「そろそろ、二人で遠くの町へ逃避行の旅に出ようか。」とか……

私の夢「ベジタブル&フルーツマイスター」取得！

DATEC 佐藤 仁美

県連主催の農村青年会議の意見発表で、夢の第一歩の資格取得を述べて、はや1ヶ月経つ。

農家は家業で長男が継ぐと言うイメージがあるが、実際丸3年働いていても若い女性の農業者に出会うことが極端に少ない。地域の4Hクラブに参加して同年代の農業青年との交流は多少あるが、職業「自営(農業)」と書くことには、まだためらいが残る。こんな現状を打開したいと思い、あの日に青年会議で意見発表をする事になったのである。

さて、私は専業農家の8人家族で育った。祖父母、両親、2つずつ年の離れた3人の姉がおり、本家跡継ぎ次こそは絶対男の子と言うプレッシャーの中、3200g弱で誕生した女の子である。小さい頃は、姉たちのおもちゃにされ、あぶらっこ(「小さい子はのけ者」の意味)にされ、サツマイモをふかしてもらい、いかニンジン(伊達地方の郷土料理、松前漬の元祖とも言われる。)のためのスルメの足を炙って食べ、すくすくと大きくなった。絵に描いたような農家の末っ子だった。

18歳になると進路の選択を迫られ、流れとプレッシャーの中、短大、就農と言う道を選んだ。間もなく就農4年目となる。

私は、あの意見発表会の前に、今度仙台で行われる説明会に出るための資料を、既に取り寄せていた。

芸能人では、シチューのCMに出ていた西田ひかる、お笑い芸人ロンドンブーツ1号2号の田村淳



がベジタブル&フルーツマイスターを取得し「野菜ソムリエ」として有名だが、民間が運営するこの資格試験、実は結構お金がかかるのである。

初級のジュニアで約13万、中級のマイスターで約16万、上級のシニアで36万円！(受講料、試験料等含む)。家のイチゴ農家を手伝う23歳独身女性が申し込むにはそれなりの勇気がいる。しかも初級で最短3日かかる講義を、仙台まで受けに行かなくてはならないのである。思ったよりハードルが高い、と気持ちのベクトルが一時右下がりとなった時もあった。

価値は自分が作るものである。価値を生み出せば講義・試験代は安いものだ。名人、達人としてのドイツ語「マイスター」の名を持つ資格を、いかに活用するか。「野菜ソムリエのお姉さん」として保育園児達の前でイチゴの話をすることを想像し、気持ちのベクトルを右に上げ、今日もイチゴを詰めている。

取るぞ、ベジタブルフルーツマイスター！

編集後記

当会社の広報誌(あぐりサポートニュース)は、平成12年から農地保有合理化事業、就農支援促進等に関する事業などの推進状況や農業の振興に関する調査研究等を取りまとめ、年3回発行して参りましたが今年で10年になりました。この間、発行に当たりご協力していただいた関係者に対し心から感謝申し上げます。今後も紙面内容の充実を

図るため、努力して参りますのでよろしくお願いいたします。 SM

お問い合わせ

あて先 〒960-8681
福島市中町8番2号 福島県自治会館8F
財団法人福島県農業振興公社 総務課
TEL 024(521)9834 FAX 024(521)8277
URL <http://www.fnk.or.jp>